

はたらくお母さん

小 二

ぼくは学どうに通っていません。たまにお母さんのおむかえがいつもよりおそくなつてさびしくなります。

「なんでぼくは学どうに行かないやいけないの。」

とお母さんに聞きました。すると、お母さんは、

「お母さんは、はたらいっているからだよ。」

と言いました。ぼくは「なん

でお母さんは、はたらいているのか。」と考えました。「もし、お母さんが、はたらいていなかったら、いつも家にいてうれしいし、もっとたくさんいっしょにいられるのに。」

と思います。でも、お父さんとお母さんがはたらいていれば、お父さんだけがはたらいているよりもっと楽しいくらしができるから、お母さんもはたらいていると思ひました。

そのことをお母さんに話すと、

「お金がもらえることもはたらく理ゆうの一つだけど、一ばんの理ゆうは、お母さんがはたらくのが楽しいからだよ。」

と言っていました。その後、「むかしは、子どもがいる女の人は、ほとんどの人がはたらくていなかった。」「し事をしている人もやめていた。」と教えてくれました。

それは、女の人が子どもの世話をしたり、そうじやせんたくをしたり、家のし事をするの当たり前だと思われて

いたからだそうです。

「お母さんだからこれをしてはいけない、男だから、女だからと決めつけてはいけませんよ。」

と言っていました。

「お母さんは、すきなし事ができてしあわせだよ。」

と言っていました。ぼくも自分のすきなし事ができたらしあわせだなと思いました。そして、「人けん」とはどういうことかを教えてくれました。

人けんとは、人は一人一人

ちがつていて、だれでも自分
に一ばん合った生き方をする
ことがしあわせで、そのしあ
わせはだれにもじやまされて
はいけないことだそうです。

むずかしい話で、はじめは
わからなかつたけれど、お母
さんとたくさん話をして、ぼ
くの近くにもある大事なこと
だと思いました。

ぼくは、自分でもりよう理
をしたり、そうじをしたりし
たいと思っっているので、これ
からはお母さんのお手つだい
をたくさんしようと思いま

す。はたらくお母さんがしあ
わせだと思ふことが一ばん大
事だと思いました。